

令和5年度

黒石市に対する要望事項への回答

黒 石 市

令和5年度黒石市に対する要望事項一覧

【 黒石商工会議所 ⇒ 黒石市 】

最重点要望事項		担 当 課
1	黒石市人口減少対策支援策のさらなる周知及び住宅新築・購入に係る一部経費を補助する制度の創設、子育て世代への支援策の充実について（継続・一部変更）	企画課

要 望 事 項		担 当 課
◆福祉		
1	新型コロナワクチン接種副反応による後遺症患者のためのサポート窓口の設置並びに高齢者等が罹患した際の体制づくりについて（新規）	新型コロナウイルス感染症対策室
◆商工業振興		
2	黒石市制度融資保証料の増額について（継続・一部変更）	商工課
3	マイナンバーカードの利便性を高める自治体サービスについて（新規）	市民環境課
4	原油価格高騰に対する支援金等の給付について（新規）	商工課
5	創業、事業承継支援について（新規）	商工課
6	ふるさと納税返礼品の充実及び企業版ふるさと納税への周知・協力について（再要望・一部変更）	総務課 企画課
◆都市環境		
7	大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）	土木課 都市建築課 商工課
◆観光振興		
8	黒石市内の観光地における無料の公衆無線LANの設置について（継続・一部変更）	観光課 商工課

最重点要望事項	1 黒石市人口減少対策支援策のさらなる周知及び住宅新築・購入に係る一部経費を補助する制度の創設、子育て世代への支援策の充実について（継続・一部変更）
---------	--

担当課・機関名	企画課
---------	-----

要望事項の内容	<p>当市の総人口は、昭和30年の41,607人をピークに減少へ転じ、令和4年11月末時点の人口は31,604人となり、ピーク時から比べおおよそ24%、前年同月比では約400人減少しており、人口減少に歯止めがかからない状況が続いています。また、小中学校の児童数が平成23年の3,145人に対し、令和5年1月現在は1,967人と、約10年の間で1,178人減少し、県内10市の中で最も減少率が高くなっています。</p> <p>人口減少幅縮小のためには、所得水準の向上や暮らしやすさの向上に取組み、多様な就労環境、安心して子育てができる環境整備など長期的な観点から捉えることが重要と考えます。</p> <p>当市においても空き家利活用やワークスペース創出、移住支援金、起業移住支援補助金など様々な補助金や支援金の活用により移住者の増加を目指しております。さらなる周知を図ることで、移住先の候補地として選ばれる可能性が増えてくると考えられます。</p> <p>また近隣市町村では移住者、子育て世代及び新婚世帯の住宅取得を支援するため、住宅新築・購入に係る経費の一部を補助する事業を展開しており、これにより移住者が増えている状況にあります。</p> <p>兵庫県明石市では、高校生までの医療費無料化、第2子以降の保育料の完全無料化、中学校給食無償などの手厚い子育て支援策が、若い世代を呼び込む一因となり10年連続で人口が増加しています。未来への施策が歳入増加に繋がり、地域経済の好循環を生む好事例となっています。</p> <p>つきましては人口減少問題への対策として、現在実施している支援策のさらなる周知及び住宅新築・購入に係る一部経費を補助する制度の創設、子育て世代への支援充実のため学校給食無償化などを講じていただくよう要望します。また少子化は地域社会にとり極めて深刻な問題であるため、黒石市の総合的な対策の指針を示して頂きますよう要望します。</p>
---------	--

要望事項に対する回答	<p>市では、少子化対策の総合的な指針となるものとして、人口減少の克服に向けて、まち・ひと・しごと創生法に基づき、令和2年3月に「第2期黒石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しています。その中で、人口の自然減対策として、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望づくり」を政策分野の一つとして掲げ、結婚から出産・子育てまでの支援や学校教育・社会教育の充実に取り組んでいるところです。</p> <p>若い世代を対象とした主な支援として、子ども医療費の無償化や学校給食を実施しておりますが、子ども医療費の無償化に関しては、子育て世帯の負担軽減を図り子どもを安心して産み育てられるよう、令和5年度から医療費無償化の対象を18歳まで引き上げることとしています。</p> <p>学校給食に関しては、小学校に引き続き令和7年4月から中学校の給食を開始予定です。現時点では無償化を実施することは考えておりませんが、経済的理由により真に援助が必要な世帯に対しては、就学援助事業により学校給食費を全額援助しています。</p> <p>住宅新築・購入に係る補助については、現時点では実施の予定はありませんが、空き家改修の補助として、弘前圏域8市町村で実施している空き地・空き家バンクを利用して空き家を取得した人を対象に、改修費を最大30万円補助する「黒石市空き家利活用事業補助金」を実施しています。</p> <p>また、令和5年度の新規事業として、黒石市に居住している大学等卒業後5年以内の方に対し奨学金返還支援として5年間で最大100万円を補助する制度を創設しました。奨学金返還額を補助することで若者の移住定住の促進を図ります。</p> <p>上記事業のほかにも首都圏から移住する方を対象とした「移住支援金」や、市内で起業した方が対象の「起業移住支援補助金」、地域おこし協力隊制度等、人口減少対策の事業は他にもございますので、引き続き、市のホームページや県の移住ポータルサイトへの掲載、また、首都圏で実施する移住イベントや個別相談会での周知を図ってまいります。</p> <p>人口減少及び少子高齢化は地域住民の生活全般に影響を及ぼす大きな課題であることから、商工会議所の皆様をはじめとする諸機関と分野横断的に連携して課題解決に向け取り組んでいきたいと考えております。</p>
------------	---

要望事項

1

新型コロナワクチン接種副反応による後遺症患者のためのサポート窓口の設置並びに高齢者や障害者等が罹患した際の体制づくりについて（新規）

担当課・機関名

新型コロナウイルス感染症対策室

要望事項の内容

新型コロナワクチン接種が進む一方で、接種後の体調不良を訴える人も少なくありません。なかにはワクチン後遺症のために仕事に行けなくなったうえ、医療費もかさんで、経済的な苦しみを訴える人もあります。

国の「予防接種健康被害救済制度」では、ワクチン接種後に医療機関での治療が必要になったり、障害が残ったりした場合に、その健康被害が接種を受けたことによるものと認められると、医療費や医療手当などの給付が受けられます。申請は、本人や家族が必要な書類を自治体に提出し、都道府県を通じて国に届け、予防接種や感染症などの専門家で構成される審査会で因果関係を判断する審査が行われます。しかし救済措置までには数ヶ月～1年以上の長い道のりであるため、苦悩し続けている現状があります。

9月26日から、新型コロナ感染者の全数把握を簡略化し、詳しい報告の対象を重症化リスクが高い人に限定する運用が全国一律で始まりました。行動制限が緩和される中で、若い年代に比べると高齢者は重症化リスクが高い傾向にあります。

また、高齢者や障害者等で、1人住まいまたは家族での対応のみでは検査や受診のため病院に行くことが困難な方もあります。かかりつけ医がいなく自宅療養をしている場合、容体が急変しても気づかず命を落とす危険が高くなっています。感染拡大への備えを強化するためには、高齢者や障害者等の発熱や感染に向けた検査・往診など適切に対応できる体制づくりが必要となります。

つきましては新型コロナワクチン後遺症で悩む方達のため、黒石市として専門のサポート窓口の設置、並びに高齢者や障害者等が罹患した際の相談窓口の設置、訪問診療や病院への移動手段の確保など、医療難民がでないよう検査や受診、薬の処方等ができる体制づくりを要望します。

要望事項に対する回答

新型コロナウイルスの罹患や新型コロナワクチン接種に関する相談については、市の健康推進課ワクチン対策係及び新型コロナウイルス感染症対策室のほか、保健所や県の専用ダイヤルが相談窓口となっています。

新型コロナワクチンの接種後の副反応による健康被害で悩む方からのお問い合わせについて、市では、かかりつけ医の有無など状況を伺ったうえで、市内医療機関や県が開設する自宅療養者サポートセンター、副反応専用ダイヤルを紹介し、医師等の指示に従って対応してもらうよう説明しているほか、市ホームページや毎戸チラシ等でも問い合わせ先等の情報を掲載しております。また、3月の市広報の配布の際には、回覧文書として市民の皆様様に改めて周知したところです。

次に、高齢者等が新型コロナウイルスに罹患した際の訪問診療や移動手段の確保など市のサポートはございませんが、市の担当保健師や職員が、市内で発熱外来を受け入れている医療機関を紹介し、適切な診察を受けてもらうよう改めてご案内しているところです。

現在、国では新型コロナウイルス感染症の分類を、5月8日をもって、新型インフルエンザ等感染症から季節性インフルエンザと同等の5類感染症に移行する方針で、マスク着用や医療体制、ワクチン接種体制など各感染予防対策の見直しを進めており、市としても、国県等の方針を基に、市民に対し、随時情報提供することとしております。

いずれにしても、市に相談する市民の方々は、自らの症状に悩みや不安等を感じ、市に問い合わせに来ていることから、その不安を和らげ、少しでも安心して相談や受診等ができるよう、丁寧な対応に努めて参ります。

様式 1

要望事項 2 黒石市制度融資保証料の増額について（継続・一部変更）

担当課・機関名 商工課

要望事項の内容

黒石市制度融資は当該保証料を一定額、市が負担し中小企業者の資金繰りや経費負担の軽減に寄与しております。

今年度の制度融資の利用状況については、小口資金特別保証制度、事業活性化資金特別保証制度、青森県・黒石市連携融資制度（青森県『選ばれる青森』への挑戦資金）など各制度の予算の消化率が合計で43.5%と、例年に比べて低い水準で推移しているのは、新型コロナウイルス感染症特別貸付制度の利用が多かったためだと予想されます。

しかし、本制度保証料給付は例年上半期で予算に達してしまい、年度後半には保証料給付が受けられない中小企業者が出るなど、ニーズの高い制度であるため、今後早い段階で予算に達する可能性があります。

各制度において予算の消化率に差異があることから、消化状況に応じて各制度間の予算の流用を行えるよう制度設計していただくよう要望します。

また、制度自体の融資枠が予算に達していない場合でも、市が負担する保証料給付については例年比較的早く予算に達しているため、今後1件でも多くの中小企業者が保証料給付を受けられるよう保証料給付の増額を要望します。

要望事項に対する回答

黒石市特別保証制度は、中小企業者に対し運転資金・設備資金等の資金調達に係る信用保証料を補助することで資金調達コストを軽減し、経営の安定や事業の活性化を図ることを目的としています。

令和4年度は、信用保証料の予算額について、令和3年度の10,000千円から13,939千円に増額しており1月末現在の信用保証料補給実績は12,134千円となっております。

また、新型コロナウイルス感染症に対応した青森県経営安定化サポート資金「災害枠」についても引き続き連携しており、保証料補給実績は3,250千円の予算に対し415千円となっております。

令和5年度も令和4年度に引き続き、小口資金特別保証制度、事業活性化資金特別保証制度に加え、新型コロナウイルス感染症に対応した青森県経営安定化サポート資金の「災害枠」についても連携し、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者の方への資金面でのサポートを継続してまいります。

また、令和2年度からは小口資金特別保証制度と事業活性化資金特別保証制度の両制度間で予算の消化状況に応じて市と青森県信用保証協会が協議を行い予算の範囲内で限度額を変更することができるようにしております。

今後も、より多くの中小企業者が信用保証料給付を受けられるよう、小口資金特別保証制度と事業活性化特別保証制度の一本化も含め、関係機関とも協議しながら有効な活用方法を検討してまいります。

様式 1

要望事項	3 マイナンバーカードの利便性を高める自治体サービスについて（新規）
------	------------------------------------

担当課・機関名	市民環境課
---------	-------

要望事項の内容

現在、マイナンバーカードは、マイナポイント事業等によって普及促進が図られ、徐々に交付数が増加しています。交付を受けた市民は様々なサービスを受けられると考えておりますが、黒石市ではコンビニで住民票を取得するサービスをまだ実施していない等対応していないサービスがあります。

自治体の営業時間外に自宅付近のコンビニで各種サービスを受けられるなど、マイナンバーカードを有効活用できる環境整備を要望します。

要望事項に対する回答

市では、令和5年3月1日からマイナンバーカードを使用し、全国のコンビニエンスストア等で、住民票の写し（300円）、印鑑登録証明書（300円）、戸籍の全部事項証明書または個人事項証明書（450円）、戸籍の附票の写し（300円）を取得できるようになりました。利用時間は、年末・年始およびシステムメンテナンス日を除く、午前6時30分から午後11時までです。

様式 1

要望事項 4 原油価格の高騰に対する支援金等の給付について（新規）

担当課・機関名 商工課

要望事項の内容

現在、新型コロナウイルス、原油価格高騰、円安の影響により中小企業者は度重なるコスト増加に見舞われ、価格転嫁が追い付かない状況にあります。
黒石市におかれましては、令和4年2月に運輸業等を対象とした黒石市燃油価格高騰対策支援事業を実施いただいたところではありますが、その他多くの業種において、長期に渡るコスト増加の影響が非常に大きく事業継続が難しい局面にあります。
つきましては、原油価格等の高騰に苦しむ中小企業者のため、黒石市独自の支援金給付などの対応策を講じてくださいますよう要望します。

要望事項に対する回答

市では、燃油価格高騰対策事業として、令和3年度に市内に本店又は主たる事業所を置く貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、タクシー事業、自動車運転代行業を営む事業者に対し1事業者につき20万円を給付しているほか、令和4年度には物価高騰対策として、20,000円分の商品券を10,000円で購入できるプレミアム商品券である「くろいし応援商品券」を発行したほか、青森県経営安定化サポート資金の「経営安定枠」についても信用保証料を補給することで連携しております。
令和5年度には、経済対策として「くろいしまっコカタログ事業」を実施する予定としております。事業内容としては、市内に本店のある1事業者について一つの商品又はサービスを掲載したカタログを作成し市内全世帯に配布いたします。世帯は掲載された商品又はサービスから希望の商品を選んでいただき後日事業者からお送りするものとします。事業者には実績に応じて市から経費をお支払いします。詳細については、今後検討してまいります。カタログには商品の情報だけでなく事業者の紹介も掲載したいと考えておりますので、事業者の皆様にはぜひPRの場としてもご活用いただければと思います。
また、要望にもありました原油価格高騰に伴う事業者の皆様への支援策について、具体的なご提案をしていただき、事業の可能性について貴所と協議してまいりたいと思います。

様式 1

要望事項 5 創業・事業承継支援について（新規）

担当課・機関名 商工課

要望事項の内容

黒石市は創業支援等事業計画を策定・実行し、創業を検討する方や創業後間もない方の経営安定や地域からの雇用、しごとづくりに寄与しています。

当所では事業所の経営力向上・地域経済発展の面から、創業と同様に事業承継支援を強化・継続していきたいと考えております。

現在事業承継支援については、黒石市と共に「経営者の交代の準備や計画づくりの必要性の周知、実行支援」を行っております。最近では、創業を検討する方が一から起業する方法に加え、既存の事業を承継する方法もあるため、今後創業と事業承継支援を関連付けて支援し、一件でも多くの事業所の技術・ノウハウを守り、地域からの雇用やしごとづくりに繋げていきたいと考えます。

つきましては今後の事業承継支援の充実のため、黒石市の創業支援のメニューにある「融資に関する保証」などを事業承継を機に新たな取り組みを行う事業者にも拡大してくださいよう要望します。

要望事項に対する回答

令和4年8月に、弘前市、黒石市、五所川原市、3市の商工会議所及び日本政策金融公庫弘前支店との間で「事業承継支援に関する覚書」を締結し、先日は「事業承継セミナー」を共催で開催させていただいたところです。

また、市では県が実施する特別保証融資制度の一つである青森県「選ばれる青森」への挑戦資金についても県と連携し保証料の補給を行っております。「県内で創業する事業」の他「新分野進出を図る取組」についても連携しておりますので、引き続き周知してまいります。

地域を支えてきた事業を長く存続させ次の世代へ引き継いでいくためにも、今後とも黒石商工会議所などの各支援機関の皆様とも広く連携しながら創業・事業承継施策に取り組んでまいりたいと思います。

様式 1

要望事項 6 ふるさと納税返礼品の充実及び企業版ふるさと納税への周知・協力について（再要望・一部変更）

担当課・機関名 総務課・企画課

要望事項の内容

自分の故郷や応援したい自治体など、好きな自治体を選んで寄付ができる制度の「ふるさと納税」は年々人気となっており、総務省で発表されたふるさと納税の現況調査によると2021年の全国を対象としたふるさと納税件数は4,447万件となっております。

当市においても返礼品のラインナップの更なる充実により、ふるさと納税サイトにおいて、絶好のPRになることと思われま。

また、地方創生の充実・強化に向けて平成28年度に創設された「企業版ふるさと納税」は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、最大で寄附額の約9割が軽減されます。黒石市においても、地方創生に関連する事業への活用のため、企業からの寄附を募集しておりますが、まだ多くの事業所に認知されていない状況です。

社会貢献やパートナーシップの構築、新事業展開など企業版ふるさと納税のメリットを多くの事業所に認知され定着していくことによって地域活性化へ繋がっていくものと思われま。

つきましては、「ふるさと納税」返礼品のラインナップの更なる充実及び「企業版ふるさと納税」に関する周知を要望します。

要望事項に対する回答

ふるさと納税は、寄附というかたちで希望する自治体の政策や取り組みを応援しつつ、返礼品として地場産品を受け取ることができる制度として定着し、地域経済活性化を促進する手段として注目されています。

当市では、ふるさと納税返礼品の充実に向け、事業所を訪問し事業制度やメリット等の説明を随時行っているほか、市のホームページにおいて返礼品提供事業者の募集を行い魅力ある黒石産品の発掘に努めているところです。

この取り組みにより今年度新たな返礼品として52品目追加し、その登録数は、令和5年1月末日現在で204品目となり、寄附金額は前年同期比で約145%の251,499,000円となっていることから、今後も魅力ある黒石産品の発掘や新たな販路の拡大を図ってまいります。

また、企業版ふるさと納税は、本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外となっていることから、寄附募集をする際には黒石市外に本社を置く企業に対し、様々な場面において多角的にPRしていく必要があります。当市ではPRチラシを作成し、市のホームページや内閣府の「企業版ふるさと納税ポータルサイト」等で周知を行っているほか、県内外の関連企業へのダイレクトメールや東京黒石会等にも周知活動を行っています。寄附実績は、令和5年1月末日現在で令和3年度の1件から14件に大幅に増加し、寄附金額も前年同月比で920%の4,600,000円にアップしているところです。

今後も継続的に寄附をいただけるようなフォローを行っていくほか、企業が関心を持つような事業の企画や寄附に結び付く新たな取組みを展開していくこととしております。

ふるさと納税は「ちょっとした繋がり」が寄附に結び付くことが考えられますので、経済界に広い人脈を持つ商工会議所関係者の皆様からも様々な機会において周知していただくことで、地域活性化に繋がるものと期待しております。

要望事項	7 大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）
------	-----------------------------------

担当課・機関名	土木課・都市建築課・商工課
---------	---------------

要望事項の内容

主要地方道大鰐・浪岡線は、大鰐町を起点に平川市・黒石市を經由し青森市と連絡する幹線道路であり、生活経済圏の連絡強化、広域観光と文化の交流にとって重要な路線です。主要交差点の右折レーン設置や交差点区間での信号機調整など、県による交通環境が整備され沿道の土地利用も増進していますが、一方で本線102号の地域高規格化及び幹線市道の整備により、沿線商業活動が活発化し通過交通の流入に伴う交通渋滞は解消されていない状況です。

黒石市では、令和4年4月1日より県道弘前田舎館黒石線の中村商店付近交差点（柵ノ木3丁目）から市道長坂・柵ノ木線、クロミツ付近交差点（柵ノ木4丁目）までの一部区間約360メートルについて供用可能とし、都市計画道路3・4・7号黒石環状線について順次整備されています。また、黒石市が物流拠点として黒石インターチェンジを活用したロジスティクス戦略を進めている事業地の「黒石ICロジスティクスクロッシング」では、物流拠点として今後大型車等通過交通量の増加が予想されます。主要地方道大鰐・浪岡線は益々交通渋滞となる可能性が高く、解消を図るためには、当該環状線が交差する県道268号から国道102号までの区間整備が必要であり、浅瀬石川を跨ぐ長大橋の整備も不可欠であるため、都市計画道路3・4・7号黒石環状線の整備促進を図ることを引き続き要望します。

要望事項に対する回答

主要地方道大鰐浪岡線の交通渋滞緩和対策における県の見解としては、山形町等の交差点に右折レーンを設置したこと、寿町の交差点から国道102号との交差点区間で信号機の調整による対応が交通渋滞緩和対策として示されております。

黒石都市計画道路3・4・7号黒石環状線は、主要幹線道路である国道102号（高規格道路）を起終点とした市街地を取り囲む環状線を形成しており、市街地中心部の交通渋滞の緩和や交通アクセスの向上を図る幹線道路として位置付けております。

その中で、現在、通学路の安全を確保する重点事業として歩道を設置した道路整備を進めるため、八甲「株式会社黒石ガス」付近から柵ノ木「りんご研究所」付近までの906m区間において、平成25年度から事業に着手し、令和4年4月1日には「りんご研究所」付近から北側360m区間について一部供用開始しており、令和7年度の事業区間全体の供用開始を目指して事業を執行しているところです。

3・4・7号黒石環状線の次期計画について、新たに事業着手する予定はありませんが、現事業区間の終点である柵ノ木「りんご研究所」付近から南側の国道102号「なごみホール黒石」交差点までの区間、約1,100mの計画道路については、現在、開発が進んでおりますロジスティクス戦略の事業地にも直結し、物流には最適かつ効果的な道路であるとともに、大型車の円滑な交通及び交通渋滞の緩和にも大きな役割を果たすことが期待できるものと考えております。

この区間の整備につきましては、浅瀬石川を跨ぐ長大橋の整備が必要となり、技術面及び財政面においても市が実施するには困難な事業であることから、県事業として整備していただくよう要望しております。

要望事項	8 黒石市内の観光地における無料の公衆無線LANの設置について（継続・一部変更）
------	--

担当課・機関名	商工課・観光課
---------	---------

要望事項の内容

現在、黒石市内で観光地などの交流人口の多い場所（屋外）に、広域で公衆無線LANを常設しているところはありませんが、観光客等の利便性を高め、SNS等でどんどん黒石市の魅力を発信して頂く仕組みが必要であると考えます。令和3年度に利用者が少なく費用対効果の観点から黒石市の観光地である中野もみじ山・金平成園へのWi-Fi設置を取りやめ、整備を考えていないと回答がありましたが、令和3年度8月から11月まで新型コロナウイルス感染症の影響が強い時期だったこともあり観光客が減少したと考えます。

つきましては、Wi-Fi設置の基準となる費用対効果をどのくらいで設定されているか提示していただきたいことと、地域外からの来訪者を増やすためにも黒石市内観光地等交流人口の多い中野もみじ山・金平成園などの観光施設や他の公共施設等への無料の公衆無線LANの設置、また弘南鉄道黒石駅、民間宿泊施設・会議施設への設置に対する市からの補助を検討して下さるよう要望します。

要望事項に対する回答

市内の観光施設等における公衆無線LANは、市役所駐車場観光案内板前、津軽伝承工芸館ロビー、虹の湖公園管理棟、黒石駅前観光案内所、松の湯交流館、津軽こみせ駅に常設しています。

公衆無線LANは、来訪者にWebサイトやSNSによる情報収集の環境を提供すること、また来訪者がSNSなどでその場から観光情報を発信・PRできる環境を提供すること、設置することで来訪者の滞在時間と観光消費額を伸ばすことを期待し設置しています。

中野もみじ山については、令和2年度まで紅葉シーズンに合わせて簡易型のキャリアバックWi-Fi機器を設置していましたが、来訪者の意見として「中野もみじ山はもともと自然の中にあるため、Wi-Fi環境がないのが当たり前の場所」との認識が根強く、利用者が非常に少なかったため、令和3年度から設置を取りやめました。

金平成園については、ボランティアガイドによる案内ガイドがあり、来園者が人を介して情報収集できる環境にあること、比較的高齢の来園者が多くSNS等でその場からの情報発信も少ないことが予想されること、そもそも来園者から設置を望む声が皆無であることから、現時点では同園への公衆無線LANの設置は考えておりません。

Wi-Fi設置の費用対効果については、直接的な経済波及効果や情報発信効果までは把握しておりませんが、アクセス解析が可能な松の湯交流館と津軽こみせ駅（接続ID・パスワード共通）に関しては、年間のアクセス件数2,000件以上の利用を目標としています。

また、弘南鉄道黒石駅、民間宿泊施設のWi-Fi整備に関する補助ですが、国や県等の補助制度がありますので、事業者に対して活用可能な制度の周知に努めてまいります。

なお、黒石市産業会館4階の大会議室やスポカルイン黒石の会議室などの会議施設への公衆無線LANの設置については、現在のところ設置の予定はありませんが、市内には、既にWi-Fiを利用できる民間の会議室もございますので、そちらの利用も可能であります。

要 望 事 項 の 推 移 概 要

【最重点要望事項】

1	黒石市人口減少対策支援策のさらなる周知及び住宅新築・購入に係る一部経費を補助する制度の創設、子育て世代への支援策の充実について
---	---

総務委員会より提案(継続・一部変更)

要望開始年度：令和2年度・令和4年度(再要望)

要望継続期間：令和4年度～令和5年度

令和2年度： 補助金制度の創設など定住人口の拡大に向けた実効性のある施策を要望
→市からの回答が、他の分野ですでに施策実施をしているため、創設予定はなし

令和4年度： 地方移住希望者への補助金制度の創設を要望

【重点要望事項】

1	新型コロナワクチン接種副反応による後遺症患者のためのサポート窓口の設置並びに高齢者や障害者等が罹患した際の体制づくりについて
---	--

厚生福祉部会より提案(新規)

要望開始年度：令和5年度

2	黒石市制度融資保証料の増額について
---	-------------------

金融委員会より提案(継続・一部変更)

要望開始年度：平成27年度

要望継続期間：平成27年度～令和5年度

平成27年度： ①貸付総額に対する全額保証料補給 ②小口資金特別保証制度資金・事業活性化資金特別保証制度利用条件の緩和、並びに利用推進のPRを要望

平成28年度： ①貸付総額に対する全額保証料補給 ②小口資金特別保証制度資金、事業活性化資金特別保証制度利用条件の緩和、並びに利用推進のPRを要望

平成29年度： ①貸付総額に対する全額保証料補給 ②利子補給(当初2年間は1.0パーセント相当額を市が負担) ③小口資金特別保証制度資金・事業活性化資金特別保証制度利用条件の緩和、並びに利用推進のPRを要望

平成30年度： ①貸付総額に対する全額保証料補給 ②利子補給(当初2年間は1.0パーセント相当額を市が負担) ③小口資金特別保証制度資金・事業活性化資金特別保証制度利用条件の緩和、並びに利用推進のPRを要望

平成31年度： 認定書交付撤廃のため、保証料給付の認定基準を保証制度要綱に追加要望

令和2年度： 保証料給付の増額、及び現在ある2つの制度融資(小口資金特別保証制度資金・事業活性化資金)間で予算を流用できるよう要望

令和3年度： 保証料給付の増額を要望

令和4年度： 保証料給付の増額を要望

3	マイナンバーカードの利便性を高める自治体サービスについて
	理財情報産業部会より提案(新規)
	要望開始年度：令和5年度
4	原油価格の高騰に対する支援金等の給付について
	食品商業部会より提案(新規)
	要望開始年度：令和5年度
5	創業、事業承継支援について
	食品商業部会より提案(新規)
	要望開始年度：令和5年度
6	ふるさと納税返礼品の充実及び企業版ふるさと納税への周知・協力について
	総務委員会より提案(再要望・一部変更)
	要望開始年度：平成28年度・令和5年度(再要望)
	平成28年度：特典品のラインナップの更なる充実、また体験型特典や中野もみじ山植樹寄付名簿記載などの特典の充実、複数年にわたる寄付者への特典の充実を要望 →市からの回答が、公募により広く協賛事業者を募ることでラインナップの充実を図る。またその他の提案は新年度以降の調査・研究課題とする。
7	大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について
	産経委員会より提案(継続)
	要望開始年度：平成27年度
	要望継続期間：平成27年度～令和5年度
	平成27年度：更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線の整備促進を要望
	平成28年度：更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線の整備促進を要望
	平成29年度：現在の進捗状況を伺うため、担当課職員との意見交換の場を設けることを要望
	平成30年度：現在の進捗状況を伺うため、担当課職員との意見交換の場を設けることを要望
	平成31年度：更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線の整備促進を要望
	令和2年度：更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線の整備促進を要望
	令和3年度：更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線の整備促進を要望
	令和4年度：更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線の整備促進を要望

理財情報産業部会より提案(継続・一部変更)

要望開始年度：平成31年度

要望継続期間：平成31年度～令和5年度

平成31年度： 黒石市内観光地等交流人口の多い野外に広域で公衆無線LAN設置検討を要望

令和2年度： 黒石市内観光地等交流人口の多い野外に広域で公衆無線LAN設置検討を要望

令和3年度： 黒石市内観光地等交流人口の多い「こみせ通り」に無料公衆無線LAN設置、及び宿泊施設・会議施設への設置に対する補助の検討を要望

令和4年度： 黒石市内観光地等交流人口の多い中野もみじ山・金平成園などの観光施設や他公共施設等への無料公衆無線LAN設置、及び弘南鉄道黒石駅・民間宿泊施設・会議施設への設置に対する補助の検討を要望

報告事項①

各部会・委員会、青年部・女性会活動報告について

(令和5年5月29日～令和5年7月3日)

①黒石商工会議所青年部 青森YEGとの意見交換会

開催日時 令和5年5月30日(火)午後6時30分

開催場所 レストラン御幸

出席者 村上慈人・齊藤工・浅利有里・渡辺浩司・松村定世・加藤さおり
瓜田健太郎・佐川武士・村上照幸・石澤富之・青森YEG 6名

内 容 コロナ禍によりこの3年間、各青年部は事業活動を一部中止や自粛など思うようにYEG活動や事業運営ができなかった状況であったが、徐々に制限等が解除されている今、コロナ禍の収束を見据えた地域経済の再構築を図るため、各単会がチカラを合わせこれまでよりも更に深い連携をしていくことで組織の強化とそれぞれの地域発展に繋がると信じ、青森YEGの呼びかけに賛同し実施した。お互いの単会の状況や現在実施・計画している事業など、また自社の状況や今後の見通しなどの情報交換を行った。

②黒石商工会議所青年部第3回役員会

開催日時 令和5年6月5日(月)

開催場所 黒石商工会議所「会頭室」

出席者 村上慈人・齊藤工・浅利有里・渡辺浩司・松村定世・對馬大樹・三上修平・佐川武士

議案審議 案件(1)令和5年度6月定例会について

実施内容を協議した。

案件(2)歌って踊ろう♪みんなでよされについて

出演依頼を送付し7団体より参加申込があったことを報告。

今後委員会を開催し、プログラム・タイムスケジュールを作成し次回役員会に提出するとした。

案件(3)その他

黒石商店街協同組合より「クラシックカークラブ青森ミーティング in こみせ」への出店要請を受け、担当を交流委員会とし次回役員会までに事業内容を報告するとした。

③青森県商工会議所青年部連合会第2回役員会

開催日時 令和5年6月10日(土)

開催場所 サンロイヤルとわだ

出席者 村上慈人・齊藤工・佐川武士

協議事項 (1)令和6年度日本YEG青森県連会長輩出単会について
八戸YEGより輩出することが承認された。

(2)令和6年度日本YEG出向役員輩出単会について
八戸YEGより輩出することが承認された

(3)令和6年度東北ブロックYEG出向役員輩出単会について
青森YEGと五所川原YEGより輩出することが承認された。

(4) 未来健康交流委員会事業について

八戸Y E Gの定例会開催の際に令和3年度日本Y E G会長を務めた吉川正明氏を講師に迎え政策提言講習会を開催することが承認された。

(5) 第16回青森県連会員大会青森大会について

各委員会より県連大会に向けての報告があり計画・予算について承認された。

④黒石商工会議所女性会 青少年の森開きに係る「おにぎり配布」事業

開催日時 令和5年6月11日(日) 午前10時00分

開催場所 黒森山ウォーキングセンター

参加者 大溝千秋・端田裕花・渋川麗子・木村優美子・高木まり子・井元タマエ・事務局

内容 当会で準備したおにぎりとは他団体で準備した焼きそばとふかし芋を1パックにまとめ、山歩きトレッキング参加者や来場者に提供した。

⑤黒石商工会議所女性会令和5年度第3回役員会

開催日時 令和5年6月13日(火) 午後7時00分

開催場所 黒石商工会議所「会頭室」

出席者 大溝千秋・端田裕花・李若冰・渋川麗子・木村優美子・斎藤甲・野呂英子・神真奈美・工藤由美子・岩崎聡子・高木まり子・石黒きよの・井元タマエ・事務局

議案審議 報告(1)新入会員報告

案件(1) 令和5年度青森県商工会議所女性会連合会総会青森大会について

1人あたり登録料10,000円に対し、会より2,000円を補助することを決定。

案件(2) 令和5年度東北六県商工会議所女性会連合会総会北上大会について

1人あたり登録料11,000円に対して、会より3,500円を補助することを決定。

案件(3) 定例会の開催について

7月14日(金)午後6時30分より「イタリアンパスタレストランサッソネロ」にて定例会を行うことを決定。

案件(4) 青森県信用組合の通帳について

当会で管理している上記通帳について、近年ほぼ使用していないことから解約し、現在主に使用しているみちのく銀行の通帳に運営費をまとめることに決定。

案件(5) 黒石よされ廻り踊りについて

次回の役員会までに参加予定人数の把握を行う。

⑥生活文化商業部会ラージボール教室

開催日時 令和5年6月14日（水）午後6時00分

開催場所 スポカルイン黒石「アリーナ」

参加者 34名

目的 生活文化商業部会では、平成27年度より黒石市で行っている「くろいし健康マイレージ」の周知並びにポイント利用のできる協賛店を募集するサポートを行っている。今年度も引き続きレクリエーションスポーツとして、ラージボール教室を開催し、商工会議所会員事業所の皆様の健康と「くろいし健康マイレージ事業」へのご理解をより深め、地域の健康推進と商売繁盛に繋げていきたいと考えている。今回、11回目の開催となり、参加者の中から希望者によるトーナメントを開催し、入賞者には、ささやかな景品を贈呈する。

結果報告 黒石市健康推進課と当所生活文化商業部会による、健康マイレージポイントを取得して健康を促進していく事業の一つです。平成29年から始めて11回目の開催となり、参加者の固定化も心配していたが、金融機関・市役所・当所職員等の参加者が増えていることから、平均年齢がやや低くなり幅広い年代に受け入れられていることを感じている。

当部会としては健康促進がメインではあるが、黒石商店街協同組合の商品券を景品にすることにより、市内での買い物をしていただく機会を作っている。また、年度末には黒石市の健康マイレージのポイントによる、抽選景品を黒石商店街協同組合の商品券としていただいている。健康を促進すると同時に市内での買い物をしていただくように取り組んでる。

⑦令和5年度第2回建設部会正副部会長会議

開催日時 令和5年6月22日（木）午後6時30分

開催場所 黒石商工会議所「会頭室」

出席者 加藤正彦・徳田祐之・千葉晃大・村岡功聖・佐藤健司・事務局

議案審議 案件(1) 第1回黒石商工会議所会頭杯会員交流ゴルフコンペについて

ゴルフコンペ参加者は39名、表彰式・交流会参加者は35名となり、当日10組でコンペを開催することとなった。準備事項等の協議をした。

⑧令和5年度第3回建設部会正副部会長会議

開催日時 令和5年7月3日（月）午前11時00分

開催場所 レストラン御幸

出席者(予定) 加藤正彦・徳田祐之・千葉晃大・村岡功聖・事務局

議案審議 案件(1) 第1回黒石商工会議所会頭杯会員交流ゴルフコンペについて
最終打ち合わせをした。